

AirLogger™ LabVIEW用計測器ドライバ(仮称)

WM1000のコードレス環境と既存LabVIEW計測環境とのドッキングが可能!!
温度測定 of 配線作業と加速度、歪と温度との煩わしいデータ整理の作業が無くなります。

機能

本ドライバはLabVIEWで構築された計測環境からAirLogger™を制御するためのWindows上で動作するソフトウェアです。本ドライバを組み込むことにより、AirLogger™の条件設定、計測開始・停止、測定データの取得ができます。



サブVIEW一覧

名前	機能
AirLogger Initialize.vi	<ul style="list-style-type: none"> • AirLoggerの初期化 • システム番号とサンプリング周期の設定
AirLogger Set Sensor Type.vi	<ul style="list-style-type: none"> • 測定ユニット毎の熱電対タイプの設定
AirLogger Start.vi	<ul style="list-style-type: none"> • 測定の開始
AirLogger Stop.vi	<ul style="list-style-type: none"> • 測定の停止
AirLogger Read.vi	<ul style="list-style-type: none"> • 測定データの取得
AirLogger Get State.vi	<ul style="list-style-type: none"> • AirLoggerの状態の取得

仕様

- 最大チャンネル数100ch
- 最小サンプリング間隔100 ms

動作環境及び動作確認範囲

- ハードウェア
 - パソコン: Windowsパソコン
 - USB I/F 1個以上
 - 無線温度ロガーWM1000
- ソフトウェア
 - Windows 7
 - National Instruments社製 LabVIEW
 - アドバンテスト社製 WM1000series API

注) LabVIEW用計測器ドライバの実行には、AirLogger™API(別売)のインストールが必要です。

※Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 LabVIEWは、米国National Instruments Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。